

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成29年11月14日
【四半期会計期間】	第89期第2四半期（自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 池田 憲一
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第2四半期 連結累計期間	第89期 第2四半期 連結累計期間	第88期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (千円)	41,473,711	41,184,733	79,298,976
経常利益 (千円)	2,201,204	1,323,414	2,992,943
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,533,343	1,379,193	1,758,477
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,411,801	1,714,506	2,604,314
純資産額 (千円)	23,919,632	26,484,750	24,969,116
総資産額 (千円)	46,881,056	49,192,832	46,824,181
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	81.45	73.27	93.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	51.0	53.8	53.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,690,732	501,044	1,732,074
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	410,173	472,680	911,172
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,276,898	227,719	1,430,353
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,672,075	859,298	1,058,837

回次	第88期 第2四半期 連結会計期間	第89期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	30.64	36.68

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社は100%子会社である株式会社マルアイを平成29年4月1日付で吸収合併しました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

平成29年3月期の有価証券報告書（平成29年6月29日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況及びキャッシュ・フローの状況

##### 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、引き続きテレビ・新聞・雑誌・インターネットなどの媒体を活用した広告宣伝活動を展開し、ブランド力の強化に努めました。特に、テレビCM「シーチキン食堂」を中心としたメニュー提案により、消費者への需要喚起に努めました。

個食ニーズに対応したパウチ製品の販売を積極的に推進しましたが、ツナ製品の販売が減少し、売上高は前年同期比0.7%減の411億84百万円となりました。なお、かつお原料の価格高騰を受け、平成29年9月1日出荷分よりツナ・削りぶしのかつお製品の価格を改定しています。

利益面では、主原料であるきはだ鮭やかつおの価格の上昇に加え、販売奨励金や物流費が増加し、営業利益は12億94百万円（前年同期比37.5%減）、経常利益は13億23百万円（同39.9%減）となりました。

平成29年4月1日に当社の100%子会社である株式会社マルアイを吸収合併し、繰越欠損金を引き継いだこと等により税金費用が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億79百万円（同10.1%減）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群		前年同期		当第2四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	18,658,843	45.0	18,123,000	44.0	535,843	2.9
		デザート	2,678,600	6.4	2,744,652	6.7	66,052	2.5
		パスタ&ソース	3,810,093	9.2	3,828,777	9.3	18,683	0.5
		総菜	3,430,416	8.3	3,709,654	9.0	279,237	8.1
		削りぶし・のり・ふりかけ類	2,771,736	6.7	2,739,633	6.6	32,102	1.2
		ギフト・その他食品	1,940,241	4.7	1,803,807	4.4	136,434	7.0
		計	33,289,932	80.3	32,949,525	80.0	340,407	1.0
	業務用食品	6,976,954	16.8	7,167,637	17.4	190,683	2.7	
	ペットフード・バイオ他	954,128	2.3	849,728	2.1	104,399	10.9	
	計	41,221,015	99.4	40,966,892	99.5	254,123	0.6	
その他	252,695	0.6	217,841	0.5	34,854	13.8		
合計	41,473,711	100.0	41,184,733	100.0	288,978	0.7		

（注）1．上記金額は消費税等を含みません。

2．前期まで「総菜」に計上していた一部製品を、今期より「ツナ」に変更しました。前年同期実績についても、当該分604,487千円を「総菜」から「ツナ」に組み替えています。

「ツナ」では、「シーチキン食堂」と連動した季節のメニュー提案を展開しましたが、品質の向上を目的とした生産体制の見直しによる製造数量の減少等により、売上高は前年同期比2.9%減少しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズやフルーツパウチなど個食ニーズにマッチした製品が堅調で、売上高は同2.5%増加しました。

「パスタ&ソース」では、輸入パスタ製品の増加による低価格化が進むなか、低糖質パスタの新製品「ボボロスパCarbOFF（カーボフ）」等の付加価値製品を投入し、売上高は同0.5%増加しました。

「総菜」では、主力の「シャキッとコーン」や個食ニーズにマッチした健康パウチシリーズが好調で、売上高は同8.1%増加しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、新製品の投入によりラインナップを拡充したきざみのりが好調でしたが、ふりかけが低調で、売上高は同1.2%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、包装米飯「パバツとライス」が好調でしたが、ギフトの販売が低調で、売上高は同7.0%減少しました。

「業務用食品」では、コンビニエンスストア向けのツナやスイートコーン、デザート等が好調で、売上高は同2.7%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、フィッシュミール等のバイオ製品やペットフードが低調で、売上高は同10.9%減少しました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、1億99百万円減少し、8億59百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は5億1百万円（前年同期は16億90百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加や未払金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の計上やその他の引当金および仕入債務が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は4億72百万円（前年同期は4億10百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により減少した資金は2億27百万円（前年同期は12億76百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、79,505千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりです。

会社名 事業所名	所在地	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手および完了予定年月		完成後 の増加 能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
当社 新清水 プラント (仮称)	静岡市 清水区	食品事業	缶詰生産 設備	4,800	-	自己資金 および 借入金	平成31年 2月	平成32年 5月	日産約 290千缶

（注）上記金額は消費税等を含みません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731		

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日	-	20,650,731	-	1,441,669	-	942,292

## (6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
公益財団法人はごろも教育研究奨励会	静岡市清水区辻1-1-1	8,783	42.53
はごろも高翔会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	1,540	7.46
後藤康雄	静岡市清水区	1,180	5.72
株式会社静岡銀行	静岡市葵区呉服町1-10	583	2.82
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1-13-2	583	2.82
はごろもフーズ従業員持株会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	352	1.71
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	300	1.45
木内建設株式会社	静岡市駿河区国吉田1-7-37	270	1.31
三井物産株式会社	東京都千代田区丸の内1-1-3	217	1.05
東洋製罐グループホールディングス株式会社	東京都品川区東五反田2-18-1	172	0.83
計	-	13,982	67.71

(注) 上記のほか、自己株式が1,828千株あります。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,828,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,742,000	18,742	-
単元未満株式 (注)	普通株式 80,731	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	-	-
総株主の議決権	-	18,742	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式518株が含まれています。

## 【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区 島崎町151	1,828,000	-	1,828,000	8.85
計	-	1,828,000	-	1,828,000	8.85

(注) 第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,828,518株です。

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。  
なお、役職の異動は、次のとおりです。

### 役職の異動

新役職および職名	旧役職および職名	氏名	異動年月日
常務取締役 経営企画室 担当	常務取締役 事業本部長 補佐（支店担当）	川隅 義之	平成29年 9月20日
常務取締役 事業本部長 補佐兼 シーチキン・デ ザート・総菜ユニット長	常務取締役 事業本部長 補佐（ユニット担当） 兼 シーチキン・デザー ト・総菜ユニット長	松井 敬	平成29年 9月20日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,058,837	859,298
受取手形及び売掛金	16,607,422	18,191,421
商品及び製品	6,665,913	6,975,249
仕掛品	56,543	116,420
原材料及び貯蔵品	3,303,531	3,382,049
その他	2,405,793	2,625,756
貸倒引当金	204	1,609
流動資産合計	30,097,837	32,148,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,777,599	3,690,607
土地	3,505,898	3,505,898
その他(純額)	1,841,033	1,896,017
有形固定資産合計	9,124,531	9,092,522
無形固定資産		
438,347	416,982	
投資その他の資産		
投資有価証券	6,593,565	6,966,508
その他	573,048	571,496
貸倒引当金	3,149	3,265
投資その他の資産合計	7,163,464	7,534,740
固定資産合計	16,726,343	17,044,245
資産合計	46,824,181	49,192,832
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,636,502	13,759,094
1年内返済予定の長期借入金	500,000	1,000,000
未払金	4,849,132	3,192,761
未払法人税等	393,687	6,358
売上割戻引当金	30,813	73,492
販売促進引当金	4,690	1,403,951
賞与引当金	366,341	398,145
役員賞与引当金	1,200	-
資産除去債務	17,000	-
その他	766,915	852,514
流動負債合計	19,566,283	20,686,319
固定負債		
長期借入金	500,000	-
役員退職慰労引当金	659,910	673,128
退職給付に係る負債	50,982	125,919
その他	1,077,887	1,222,714
固定負債合計	2,288,780	2,021,762
負債合計	21,855,064	22,708,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	22,688,258	23,869,809
自己株式	2,160,423	2,161,652
株主資本合計	22,911,934	24,092,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,443,679	2,804,060
繰延ヘッジ損益	99,778	74,837
為替換算調整勘定	37,684	92,458
退職給付に係る調整累計額	448,591	393,944
その他の包括利益累計額合計	2,057,182	2,392,495
純資産合計	24,969,116	26,484,750
負債純資産合計	46,824,181	49,192,832

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	41,473,711	41,184,733
売上原価	26,155,259	26,231,120
売上総利益	15,318,452	14,953,613
販売費及び一般管理費	13,247,119	13,658,708
営業利益	2,071,332	1,294,904
営業外収益		
受取利息	31	19
受取配当金	62,177	70,274
持分法による投資利益	48,896	-
仕入割引	19,478	18,353
賃貸料収入	38,546	39,795
その他	25,673	22,819
営業外収益合計	194,804	151,261
営業外費用		
支払利息	11,499	6,262
賃貸収入原価	20,968	19,173
持分法による投資損失	-	87,813
支払手数料	17,961	-
その他	14,502	9,501
営業外費用合計	64,932	122,751
経常利益	2,201,204	1,323,414
特別利益		
固定資産売却益	2,179	-
特別利益合計	2,179	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	116
固定資産除却損	1,090	197
災害による損失	2,142	-
特別損失合計	3,233	313
税金等調整前四半期純利益	2,200,150	1,323,100
法人税等	666,807	56,092
四半期純利益	1,533,343	1,379,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,533,343	1,379,193

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,533,343	1,379,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,542	360,380
繰延ヘッジ損益	3,870	24,941
退職給付に係る調整額	43,895	47,107
持分法適用会社に対する持分相当額	195,108	47,234
その他の包括利益合計	121,541	335,312
四半期包括利益	1,411,801	1,714,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,411,801	1,714,506
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,200,150	1,323,100
減価償却費	381,948	411,304
災害損失	2,142	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,880	1,521
その他の引当金の増減額(は減少)	1,355,553	1,485,763
受取利息及び受取配当金	62,208	70,293
支払利息	11,499	6,262
為替差損益(は益)	430	133
持分法による投資損益(は益)	48,896	87,813
売上債権の増減額(は増加)	1,222,878	1,583,999
たな卸資産の増減額(は増加)	273,129	575,085
未収入金の増減額(は増加)	210,414	266,514
仕入債務の増減額(は減少)	846,943	1,122,591
未払金の増減額(は減少)	1,390,700	1,536,088
その他	347,012	374,877
小計	2,348,403	781,387
利息及び配当金の受取額	62,208	70,293
利息の支払額	8,372	6,390
災害損失の支払額	2,142	-
法人税等の支払額	710,128	344,245
法人税等の還付額	764	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,690,732</b>	<b>501,044</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	368,317	421,414
投資有価証券の取得による支出	1,866	1,881
貸付金の回収による収入	926	1,027
その他	40,915	50,411
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>410,173</b>	<b>472,680</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	1,000,000	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	39,310	28,847
自己株式の取得による支出	2,258	1,229
配当金の支払額	235,329	197,642
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,276,898</b>	<b>227,719</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	300	183
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,359	199,538
現金及び現金同等物の期首残高	1,668,715	1,058,837
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,672,075	859,298

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度まで連結子会社であった株式会社マルアイは、平成29年4月1日付ではごろもフーズ株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しているため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外していません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
販売奨励金	7,018,539千円	7,376,566千円
販売促進引当金繰入額	1,288,396	1,403,951
広告宣伝費	780,400	673,511
荷造運賃	1,057,614	1,046,820
給料及び手当	781,331	779,518

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	1,672,075千円	859,298千円
現金及び現金同等物	1,672,075	859,298

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成28年6月29日の第87期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 235,329千円

(ロ) 1株当たり配当額 12円50銭

(うち創業85周年記念配当5円を含む)

(ハ) 基準日 平成28年3月31日

(ニ) 効力発生日 平成28年6月30日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

平成28年11月11日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 141,183千円

(ロ) 1株当たり配当額 7円50銭

(ハ) 基準日 平成28年9月30日

(ニ) 効力発生日 平成28年12月5日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成29年6月29日の第88期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 197,642千円

(ロ) 1株当たり配当額 10円50銭

(うち株式会社マルアイ合併記念配当3円を含む)

(ハ) 基準日 平成29年3月31日

(ニ) 効力発生日 平成29年6月30日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

平成29年11月13日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 169,399千円

(ロ) 1株当たり配当額 9円00銭

(ハ) 基準日 平成29年9月30日

(ニ) 効力発生日 平成29年12月8日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

1年内返済予定の長期借入金、未払金および未払法人税等が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度(平成29年3月31日)

科目	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)1年内返済予定の長期借入金	500,000	500,000	-
(2)未払金	4,849,132	4,849,132	-
(3)未払法人税等	393,687	393,687	-

当第2四半期連結会計期間(平成29年9月30日)

科目	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000	-
(2)未払金	3,192,761	3,192,761	-
(3)未払法人税等	6,358	6,358	-

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)1年内返済予定の長期借入金、(2)未払金および(3)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	81円45銭	73円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1,533,343	1,379,193
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	1,533,343	1,379,193
普通株式の期中平均株式数(株)	18,825,519	18,822,810

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2【その他】

平成29年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ) 中間配当による配当金の総額 169,399千円

(ロ) 1株当たりの金額 9円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成29年12月8日

(注) 平成29年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月10日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員 公認会計士 渡辺 篤  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 貴志 豊  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。